

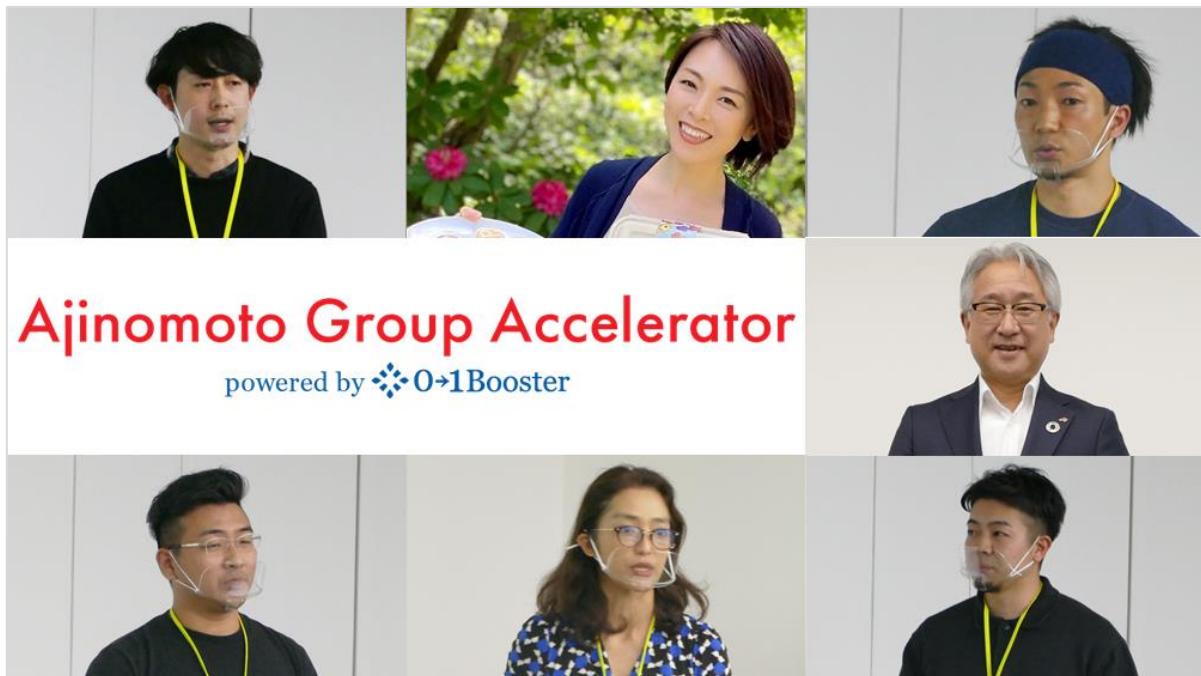
PRESS RELEASE

味の素株式会社 グローバルコミュニケーション部
〒104-8315 東京都中央区京橋1-15-1

2020年12月10日

～スタートアップとの連携強化によりイノベーションを加速～ 味の素(株)、社外向けアクセラレータープログラム 「Ajinomoto Group Accelerator」の採択企業6社を決定

味の素株式会社(社長：西井孝明 本社：東京都中央区)は、株式会社ゼロワンブースター(代表取締役：鈴木規文 本社：東京都千代田区)と共同で、社外ベンチャーとの協業を目的としたアクセラレータープログラム「Ajinomoto Group Accelerator」を進めています。このたび、本プログラムを通じ「食の未来」を共に創る企業6社を決定しました。



当社は2020-2025中期経営計画において「食と健康の課題解決企業」を目指し、その実現に向けて事業モデル変革タスクフォースに取り組んでいます。「Ajinomoto Group Accelerator」はその中核の一つであり、スタートアップと積極的に連携・協働していくことで、イノベティブな新事業の創出を目的としています。

2020年6月に新規事業のビジネスアイデアの募集を開始しましたが、応募総数は148件にのぼりました。12月8日に書類、面談選考を通過したベンチャー企業を対象としたビジネスプランコンテストを開催し、プログラムに参加していただく6社を決定しました。

この6社の採択企業様には、約5ヶ月にわたる本プログラム期間中、メンタリングや経営資源の活用、出資等の支援を行い、2021年5月18日に予定している成果発表会(デモディ)にて、成果を発表していただく予定です。

当社では今後、本プログラムの社外ベンチャーとの協業や、併行して実施している社内起業家向けプログラムを通じて新たな食の価値を創造し、「食と健康の課題解決企業」として、生活者のウェルビーイングに貢献していきます。

【採択企業】(五十音順)

No.	社名	代表者	事業概要・ホームページ
1	エリー株式会社	梶栗 隆弘	「蚕」を原料とした次世代食品「シルクフード」の開発・展開 https://www.ellieinc.co.jp/
2	株式会社 Greenspoon	田邊 友則	定額制パーソナルフード「GREEN SPOON」の企画・製造・販売 https://greenspoon.co.jp/
3	Coloridoh Inc.	竹内 ひとみ	カラフルなクッキー生地を使って子どもと料理する楽しさを提供 https://coloridoh.com/
4	TechMagic 株式会社	白木 裕士	調理ロボット事業 https://techmagic.co.jp/
5	株式会社hakken	竹井 淳平	クラウドレストラン「いえつなキッチン」の運営 https://about.hakken.io/
6	株式会社リクシス	佐々木 裕子	高齢者/シニアケア市場向け事業 https://www.lyxis.com/

【「Ajinomoto Group Accelerator」実施スケジュール】

- (1)募集期間：2020年6月17日～9月24日
- (2)ビジネスプランコンテスト：2020年12月8日
- (3)アクセラレータープログラム期間：2020年12月～2021年5月
- (4)成果発表会(デモデイ)：2021年5月18日

参考

2020年6月17日付プレスリリース

味の素(株)、社外向けアクセラレータープログラム「Ajinomoto Group Accelerator」を開始

<https://news.ajinomoto.co.jp/2020/06/20200617.html>

<株式会社ゼロワンブースターの概要>

- (1)代表者：代表取締役 鈴木 規文
- (2)所在地：東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル10階
- (3)設立：2012年3月22日
- (4)業務内容：
 - ・法人向けアクセラレータープログラム
 - ・企業内事業開発教育プログラム
 - ・行政向けアクセラレータープログラム
 - ・ベンチャー投資
 - ・事業創造オフィス
 - ・ベンチャー企業出向プログラム 等

味の素グループは、“アミノ酸のはたらき”で食習慣や高齢化に伴う課題を解決し、人々のウェルネスを共創する、食と健康の課題解決企業を目指しています。

私たちは、“Eat Well, Live Well.”をコーポレートメッセージに、アミノ酸が持つ可能性を科学的に追求し、事業を通じて地域や社会とともに新しい価値を創出することで、さらなる成長を実現してまいります。

味の素グループの2019年度の売上高は1兆1,000億円。世界35の国・地域を拠点に置き、商品を販売している国・地域は130以上にのぼります(2020年現在)。詳しくは、www.ajinomoto.co.jpをご覧ください。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先：Pr_media